

『レンゲ・中瀬沼のホタル』調査

【目的】

裏磐梯のホタル発生状況を知るため調査をおこなった

【結果】

別表（P2）のとおり

【考察】

2011年3月11日に東日本大震災が発生した。

たまたま当日の地震の発生時に中瀬沼展望台から、レンゲ沼、サイトステーションを歩いていた。まだ水面が凍結し一面に積雪で覆われた時期だったが、水面と陸の境の雪が割れ、流水部分は急激に泥で濁っていた。

雪解け後は木道がやや傾いた部分があったものの、植生などには変化がみられていない。2011年の夏、調査地においてはゲンジボタルの発生が確認できなかった。（尚、裏磐梯全体では発生していたが数は少なかった。）ヘイケボタルの発生状況は2010年とほぼ同様であった。

ホタルの発生には気候の他、エサの貝類、水質、水位、卵からさなぎになる場所の状況、補食生物等、様々な環境因子が存在するので減少原因を特定するのは難しい。今後も調査記録を残していきたい。

【概要】

（1）実施期日

別表（P2）のとおり

（2）調査者

高橋 真希（もくもく自然塾 ガイド）